

一般演題

6月29日(日)

〈プレナリーセッション〉

演題番号 PL-1 ~ PL-5 第1会場

6月27日(金)

〈口演〉

演題番号 O-001 ~ O-008 第2会場

演題番号 O-009 ~ O-024 第3会場

演題番号 O-025 ~ O-041 第5会場

演題番号 O-042 ~ O-055 第6会場

6月28日(土)

〈口演〉

演題番号 O-056 ~ O-071 第3会場

演題番号 O-072 ~ O-088 第5会場

演題番号 O-089 ~ O-103 第6会場

6月29日(日)

〈口演〉

演題番号 O-104 ~ O-111 第3会場

演題番号 O-112 ~ O-119 第4会場

演題番号 O-120 ~ O-135 第5会場

演題番号 O-136 ~ O-146 第6会場

〈ポスター〉

演題番号 P001 ~ P-029

6月29日(日)

第1会場 2F 大ホール

■プレナリーセッション (10:50~12:05)

座長：松下 正 (名古屋大学医学部附属病院輸血部)

座長：大森 司 (自治医科大学学生化学講座病態生化学部門/遺伝子治療研究センター)

PL-1 高機能改変型第VIII因子に重要となるアミノ酸置換部位の同定

○柏倉 裕志^{1,2}, 中島 由翔³, 堀中 葵寛⁴, 古田 勇馬⁵, 山口 祐希⁵,
 ネメフバヤルバートルツォグト^{1,2}, 早川 盛禎^{1,2}, 内山 進⁵, 濡木 理⁴, 野上 恵嗣³,
 大森 司^{1,2}

(¹自治医科大学病態生化学部門, ²自治医科大学遺伝子治療研究センター, ³奈良県立医科大学小児科学, ⁴東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻, ⁵大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻高分子バイオテクノロジー領域)

PL-2 血友病Bに対する塩基編集を用いたゲノム編集治療

○肥谷うちな¹, 柏倉 裕志^{1,2}, ネメフバヤルバートルツォグト^{1,2}, 佐藤 孝弘¹, 土田 晃輔¹,
 バトジャラガルヒシギジャラガル¹, 早川 盛禎^{1,2}, 大森 司^{1,2}

(¹自治医科大学病態生化学部門, ²自治医科大学遺伝子治療研究センター)

PL-3 血友病Aマウスモデルを用いた高力価インヒビター制御法の開発

○小田 朗永¹, 古川 晶子¹, 原 篤志², 北畠 正大², 王寺 典子², 伊藤 利洋², 荻原 建一¹,
 野上 恵嗣¹

(¹奈良県立医科大学小児科, ²奈良県立医科大学免疫学)

PL-4 CLEC-2発現肝類洞内皮細胞が唯一の凝固第VIII因子の産生細胞である

○早川 盛禎^{1,2}, 柏倉 裕志^{1,2}, Nemekhbayar Baatartsogt¹, 早川 裕子¹, Khishigjargal Batjargal¹,
 長尾 恭光³, 大森 司^{1,2}

(¹自治医科大学病態生化学部門, ²自治医科大学遺伝子治療研究センター, ³自治医科大学実験医学センター)

PL-5 病型分類に難渋する新規VWFバリエントの分子病態

○岡本 修一¹, 鈴木 敦夫², 田村 彰吾³, 鈴木 伸明⁴, 兼松 毅⁵, 鈴木奈瑠子⁶, 早川 文彦¹,
 清井 仁⁶, 小嶋 哲人⁷, 松下 正^{4,5}

(¹名古屋大学オミックス医療科学, ²名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門, ³北海道大学大学院保健科学研究所病態解析学分野, ⁴名古屋大学医学部附属病院輸血部, ⁵名古屋大学医学部附属病院検査部, ⁶名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, ⁷愛知健康増進財団)

6月27日(金)

第2会場 5F 小ホール①

■一般口演1 血友病 QOL1 (9:40~10:40)

座長：近澤 悠志 (東京医科大学臨床検査医学分野)

小倉 妙美 (静岡県立こども病院血友病科診療センター)

O-001 血友病患者のサルコペニア評価

○大野久美子¹, 竹谷 英之², 長尾 梓³, 近澤 悠志⁴, 後藤 美和⁵, 木内 英⁴

(¹東京大学難治性骨疾患治療開発講座, ²NHO敦賀医療センター, ³荻窪病院血液凝固科, ⁴東京医科大学臨床検査医学科, ⁵東京大学医学部附属病院リハビリテーション科)

O-002 血友病患者の身体活動量に関する定量評価

○廻角 侑弥^{1,2}, 坂田 飛鳥¹, 嶋 緑倫¹, 川崎 亮平^{1,3}, 松本 尚樹^{1,3}, 添田 哲弘^{1,3}, 辰巳 公平^{1,4}, 稲垣 有佐², 城戸 顕², 野上 恵嗣^{1,5}

(¹奈良県立医科大学血栓止血医薬生物学, ²奈良県立医科大学リハビリテーション医学, ³中外製薬プロダクトリサーチ部, ⁴奈良県立医科大学血栓止血先端医学, ⁵奈良県立医科大学小児科学)

O-003 血友病患者の新たな日常生活動作評価の作成

○赤松 和紀¹, 祖川 稔史¹, 山中 貴弘¹, 越智 海斗¹, 島原 範芳¹, 佐藤 信治¹, 澤田 直哉², 奥田 恭章², 山之内 純³, 大西 誠²

(¹道後温泉病院リウマチセンターリハビリテーション科, ²道後温泉病院リウマチセンター内科, ³愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

O-004 血友病性関節症患者におけるフレイルの検討

○寺部 健哉¹, 山本 浩登¹, 鈴木 伸明², 兼松 毅², 松下 正²

(¹名古屋大学医学部整形外科, ²名古屋大学医学部附属病院輸血部)

■一般口演2 血友病保因者 (10:50~11:50)

座長：篠澤 圭子 (東京医科大学臨床検査医学分野)

古川 晶子 (国立病院機構大阪医療センター血友病科)

O-005 周産期に凝固因子製剤の補充を要した血友病 A 確定保因者の妊娠・分娩管理

○後藤亜香利, 馬場 美奈, 関口 柚史, 白土翔太郎, 伊吹紗央莉, 須釜 佑介, 藤田 千紗, 堀口 拓人, 井山 諭, 小船 雅義

(札幌医科大学医学部血液内科学)

- O-006** 血友病 A 確定保因者の双胎妊娠における分娩時止血管理
 ○大崎 俊樹¹, 金子 竣¹, 原田 侑子¹, 宮下 竜伊¹, 山口 知子¹, 一木 昭人¹, 近澤 悠志¹, 備後 真登¹, 村松 崇¹, 四本美保子¹, 萩原 剛¹, 天野 景裕¹, 島田 淳哉², 西 洋孝², 木内 英¹
 (1東京医科大学臨床検査医学分野, 2東京医科大学産科婦人科学教室)
- O-007** 第 8 因子活性低下を認める血友病 A 推定保因者の観血的小手術に DDAVP を使用した一例
 ○尾形 善康, 溝口ゆかり, 測上 真穂, 松尾 宗明
 (佐賀大学小児科)
- O-008** F8 イントロン 22 逆位と X 染色体不活性化偏重に起因する女性血友病 A の一症例
 ○早川 晴雪¹, 伊藤 依理¹, 鈴木 伸明², 岡本 修一³, 鈴木 敦夫⁴, 兼松 毅⁵, 鈴木奈瑠子², 勝見 章⁶, 小嶋 哲人^{3,7}, 松下 正^{2,5}, 田村 彰吾^{1,2}
 (1北海道大学, 2名古屋大学医学部附属病院輸血部, 3名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻, 4名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門, 5名古屋大学医学部附属病院検査部, 6国立長寿医療研究センター血液内科, 7愛知健康増進財団)

第3会場 5F 小ホール②

■一般口演 3 後天性血友病 1 (9:40~10:40)

座長：池添 隆之 (福島県立医科大学血液内科学講座)

備後 真登 (東京医科大学臨床検査医学分野)

- O-009** 治療に難渋し、リツキシマブで奏功が得られた後天性血友病 A
 ○内原潤之介
 (地方独立行政法人那覇市立病院血液内科)
- O-010** 寛解後 FVIII overshoot の時期に深部静脈血栓症／肺血栓塞栓症を発症した後天性血友病 A の 1 例
 ○吉澤 遼¹, 小川 孔幸^{1,2}, 松本 彬¹, 宮下 南¹, 西連寺由起子¹, 武井 寿史¹, 小林 宣彦¹, 宮澤 悠里¹, 柳澤 邦雄³, 井上まどか⁴, 橋口 照人^{2,5}, 半田 寛¹
 (1群馬大学血液内科学分野, 2厚労科研事業“自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成研究班”, 3深谷赤十字病院内科, 4群馬大学医学部附属病院検査部, 5鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野)
- O-011** 後天性血友病 A においてエミシズマブの単独投与で止血を完遂できた一症例
 ○森島 繁¹, 山内 高弘², 田中梨華子¹, 三井 啓太¹, 塩谷 匠³, 久保田 力³, 竹谷 英之⁴
 (1国立病院機構敦賀医療センター内科, 2福井大学血液・腫瘍内科, 3国立病院機構敦賀医療センター整形外科, 4国立病院機構敦賀医療センターリハビリテーション科)

- O-012** 免疫抑制療法の強化が困難な後天性血友病 A 再発例に対するエミシズマブの長期出血抑制治療
○明石 伊生¹, 松本 彬¹, 小川 孔幸^{1,2}, 梶田 樹矢¹, 柳澤 邦雄^{1,3}, 内海 英貴^{1,4},
武井 寿史¹, 小林 宣彦¹, 宮澤 悠里¹, 橋口 照人^{2,5}, 半田 寛¹
(¹群馬大学血液内科学分野, ²厚労科研「自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成」研究班, ³深谷赤十字病院内科, ⁴白根クリニック, ⁵鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野)

■一般口演 4 その他の後天性凝固因子インヒビター (15:20~16:20)

座長：山本 晃士 (愛知県赤十字血液センター)

橋口 照人 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野)

- O-013** SLE 患者の妊娠中に診断された後天性第 XI 因子欠乏症の 1 例
○藤原実名美^{1,4}, 石井 智徳², 牧 優治³, 菅原 新吾³, 福原 規子¹
(¹東北大学病院血液内科, ²東北大学病院リウマチ・膠原病内科, ³東北大学病院検査部, ⁴東北大学病院輸血・細胞治療部)
- O-014** 血液凝固第 XI 因子インヒビターとループスアンチコアグラントを同時に認めた一例
○尾崎 裕子¹, 岡 周作¹, 藏藤由樹子¹, 藤森 祐多¹, 谷田部陽子¹, 荒井 智子¹, 横田 浩充¹,
坂元 美紀², 甲田 祐也², 涌井 昌俊³, 松下 弘道³
(¹慶應義塾大学病院臨床検査科, ²慶應義塾大学医学部血液内科, ³慶應義塾大学医学部臨床検査医学)
- O-015** 補正試験で補正がみとめられた後天性凝固第 X 因子インヒビター症例
○内場 光浩
(熊本大学病院輸血・細胞治療部)
- O-016** トロンビン阻害による出血傾向を伴った多発性骨髄腫の一例
○勝見 章¹, 鈴木 敦夫², 小原 史也^{1,3}, 鈴木 伸明⁴, 兼松 毅⁵, 岡本 修一⁶,
田村 彰吾⁷, 清井 仁³, 松下 正^{4,5}
(¹国立研究開発法人国立長寿医療研究センター, ²名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門, ³名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, ⁴名古屋大学医学部附属病院輸血部, ⁵名古屋大学医学部附属病院検査部, ⁶名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻, ⁷北海道大学大学院保健科学院/研究院)

■一般口演 5 出血性疾患その他 (16:30~17:30)

座長：澤田 暁宏 (兵庫医科大学呼吸器・血液内科)

小川 実加 (愛知医科大学病院中央臨床検査部・輸血部)

- O-017** 頭部 MRI を用いた日本人の成人血友病患者における脳血管疾患リスク評価
○近澤 悠志¹, 吉村 真奈², 石倉 未緒¹, 宮下 竜伊¹, 山口 知子¹, 一木 昭人¹, 備後 真登¹,
村松 崇¹, 四本美保子¹, 萩原 剛¹, 天野 景裕¹, 佐藤 友彦³, 荒木 洋一², 有蘭 英里²,
清水聰一郎³, 木内 英¹
(¹東京医科大学臨床検査医学分野, ²東京医科大学放射線医学分野, ³東京医科大学高齢総合医学分野)

- O-018** インヒビター発生後も内因性のFVIII活性が保たれていた非重症血友病Aの2例
 ○兼松 毅¹, 鈴木 伸明², 岡本 修一^{2,3}, 田村 彰吾⁴, 川口 佳乃⁵, 鈴木奈瑠子^{2,6},
 鈴木 敦夫⁷, 早川 文彦³, 小嶋 哲人⁸, 清井 仁⁵, 松下 正^{1,2}
 (1名古屋大学医学部附属病院検査部, 2名古屋大学医学部附属病院輸血部, 3名古屋大学大学院医学系研究科オミックス医療科学, 4北海道大学大学院保健科学院, 5名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, 6JA愛知厚生連豊田厚生病院血液内科, 7名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門, 8愛知健康増進財団)
- O-019** 当センターの小児術前検査におけるAPTTの後方視的検討
 ○土井 政明^{1,10}, 徳山 純嗣², 梁本 省仁², 森鼻 哲生³, 中井 弘⁴, 千足 浩久⁵,
 大西 正展⁶, 堀谷 弘⁷, 市野 直樹⁸, 山木 良一⁹, 古市 康子¹
 (1市立東大阪医療センター小児科, 2市立東大阪医療センター臨床検査技術科, 3市立東大阪医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 4市立東大阪医療センター小児外科, 5市立東大阪医療センター歯科口腔外科, 6市立東大阪医療センター整形外科, 7市立東大阪医療センター泌尿器科, 8市立東大阪医療センター形成外科, 9市立東大阪医療センター麻酔科, 10南奈良総合医療センター小児科)
- O-020** 高速原子間力顕微鏡を用いたプロトロンビンGlaドメイン変異体のリン脂質結合動態解析
 ○西野 優那¹, 油井 陸斗², 魏 威凛³, 太村 理沙³, 中谷 佳代³, 長屋 聡美¹, 桑島 大和¹,
 竹川清太郎¹, 今井 湧太¹, 安田 芽生¹, 荒磯 裕平¹, 古寺 哲幸³, 森下英理子^{1,4}
 (1金沢大学大学院病態検査学, 2金沢大学医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻, 3金沢大学ナノ生命科学研究所, 4金沢大学附属病院血液内科)

■一般口演6 抗TFPI療法 (17:40~18:40)

座長：瀧 正志 (聖マリアンナ医科大学小児科)

日笠 聡 (兵庫医科大学呼吸器・血液内科)

- O-021** マルスタシマブ第3相BASIS/長期延長試験におけるインヒビター非保有重症血友病の日本人成績
 ○藤井 輝久¹, Shamsah Kazani², Travis Gould³, Pengling Sun², Bryan McComb³,
 Carrie Turich Taylor³, Regina McDonald³, John Teeter⁴, Eunhee Hwang⁵, Andrew Palladino⁵,
 鍵山 侑希⁶, 松水 都⁶, 岡山 明史⁷
 (1広島大学病院輸血部・血友病診療センター, 2Pfizer Inc. Cambridge, United States of America, 3Pfizer Inc. New York, United States of America, 4Pfizer Inc. Groton, United States of America, 5Pfizer Inc. Collegeville, United States of America, 6Pfizer Japan Inc. Tokyo, Japan, 7Pfizer R&D Japan. Tokyo, Japan)
- O-022** 抗Emicizumab中和抗体を有するインヒビター陽性血友病A患者に対するConcizumabの使用経験
 ○金田 眞, 岡 敏明
 (札幌徳洲会病院小児科・血友病センター)
- O-023** コンシズマブ第3相試験における破綻出血マネジメント
 ○木内 英¹, マラング ジョニー², カスタマン ジャンカルロ³, アブラハム アビー⁴,
 アスタマーク ジャン⁵, トランユエン⁶, シェンチュンデュオ⁷, ボベット ジュリアン⁷,
 サザール ジャメラ⁸
 (1東京医科大学病院臨床検査医学科, 2University of the Witwatersrand, Johannesburg, South Africa, 3Department of Oncology Careggi University Hospital, Florence, Italy, 4Christian Medical College, Vellore, India, 5Department of

Translational Medicine, Lund University, Malmo, Sweden, ⁶The Alfred Hospital, Melbourne, Victoria, Australia, ⁷Novo Nordisk A/S, Soborg, Denmark, ⁸Ampang Hospital, Ministry of Health, Kuala Lumpur, Malaysia)

O-024 インヒビター非保有血友病 A/B 患者におけるコンシズマブ第 3 相試験 56 週解析結果

○野上 恵嗣¹, KC Chan Anthony², Chowdary Pratima³, Eichler Hermann⁴, RH Nielson Amalie⁵, T Zaw Jay Jay⁵, Young Guy⁶, Angchaisuksiri Pantep⁷

(¹奈良医科大学医学部小児科, ²McMaster Children's Hospital, Hamilton, Canada, ³Royal Free hospital London, England, United Kingdom, ⁴Saarland University and University Hospital, Homburg, Germany, ⁵Novo Nordisk A/S, Soborg, Denmark, ⁶Children's Hospital of Los Angeles, California, USA, ⁷Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Bangkok, Krung Thep, Thailand)

第5会場 9F 902会議室

■一般口演 7 血栓症検査 (9:40~10:40)

座長：林 滋 (血栓症化学研究所)

山崎 鶴夫 (名古屋大学医学部細胞治療医学講座)

O-025 手術前深部静脈血栓症スクリーニングにおける D-dimer カットオフ値の検討

○川崎 薫, 黄 彩実, 村上 幸祐, 高矢 寿光, 小谷 康史, 中井 英勝, 松村 謙臣
(近畿大学医学部産科婦人科学教室)

O-026 在宅患者における D-dimer のフレイル指標, 予後因子として意義

○林 滋
(血栓症化学研究所)

O-027 凝固第 V 因子改変体を用いたプロテイン S 活性測定

○丸山 慶子, 小亀 浩市
(国立循環器病研究センター分子病態部)

O-028 DOAC による測定干渉を受けないアンチトロンビン活性測定：活性炭を用いた測定法の検討

○松田 将門^{1,3,4}, 小宮山 豊², 星山 良樹³, 寺井 崇二^{3,4}
(¹福島県立医科大学保健科学部臨床検査学科, ²北陸大学医療保健学部医療技術学科, ³新潟大学医歯学総合病院検査部, ⁴新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野)

■一般口演 8 動物モデル (10:50~11:50)

座長：竹下 享典 (埼玉医科大学総合医療センター中央検査部)

山下 篤 (宮崎大学医学部病理学講座)

O-029 高感度な蛍光・X線・電子線技術による深部静脈血栓症の発症機序解明

○木村 森音¹, 佐々木洋輔¹, 米山 明男², 兵藤 一行³, 春田 知洋⁴, 関川 明生⁴, 斉藤 直也⁵, 檜山 邦雅⁵, 北 弘志⁵, 小林 芳男⁶, 北村 成史¹, 権田 幸祐^{1,7}

(¹東北大学医学系研究科医用物理学分野, ²九州シンクロトロン光研究センタービームライングループ, ³高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所, ⁴日本電子株式会社アプリケーション統括室, ⁵コニカミノル

タ株式会社先進コア技術センター, ⁶茨城大学大学院理工学研究科物質科学工学領域, ⁷東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター)

O-030 アシタバポリフェノールの摂取が肺血栓塞栓症に及ぼす影響

○坂野 史明¹, 我妻 結¹, 草薙 朋果¹, 高圓 桃佳¹, 大藏 直樹², 坂野麻里子³

(¹東京家政学院大学人間栄養学部人間栄養学科, ²帝京大学薬学部生体防御学研究室, ³相模女子大学栄養科学部健康栄養学科)

O-031 自然発症 2 型糖尿病モデルマウス (TSOD マウス) における糖尿病の進展と凝固線溶系

○大藏 直樹¹, 神窪 勇一², 高橋 芳久³, 俵 博祐⁴, 鎌田 理代¹

(¹帝京大学薬学部, ²(株)血栓トランスレーショナルリサーチラボ, ³東京医科大学分子病理学分野, ⁴(一財)動物繁殖研究所)

O-032 マウス敗血症 (LPS 投与) モデルにおける血液凝固線溶系パラメーターの検証

○渡邊 栄三¹, 藤村 理紗²

(¹愛知医科大学救急集中治療医学講座, ²千葉大学バイオメディカル研究センター)

■一般口演 9 抗凝固療法 (15:20~16:20)

座長：早川 峰司 (市立札幌病院総合臨床センター)

藤森 祐多 (慶應義塾大学病院臨床検査技術室)

O-033 新規 FXIa 阻害薬 asundexian と milvexian の組織因子刺激のトロンビン生成能を用いた凝固阻害活性

○熊野 穰¹, 鈴木 信也², 吉原久美子¹, 長岡 紀幸³, 家子 正裕⁴

(¹産業技術総合研究所健康医工学研究部門, ²公益財団法人心臓血管研究所, ³岡山大学学術研究院医歯薬学域先端領域研究センター, ⁴札幌保健医療大学保健医療学部看護学科)

O-034 Fibrin monomer complex 高値下で抗凝固剤に Argatroban を用いた持続透析の回路内凝固の検討

○金城紀代彦¹, 佐久田 豊²

(¹沖縄協同病院血液浄化療法科, ²沖縄協同病院集中治療室)

O-035 敗血症性 DIC における抗凝固療法後の予後予測指数の検討

○谷川 友樹¹, 山川 一馬², 久宗 遼², 仕子 優樹³, 射場 敏明⁴

(¹日本血液製剤機構メディカルアフェアーズ室, ²大阪医科薬科大学救急医学教室, ³埼玉医科大学大学院医学研究科生物統計学教室, ⁴順天堂大学大学院医学研究科救急・災害医学)

O-036 令和 6 年能登半島地震後の深部静脈血栓症発生率と背景因子および避難所環境との関連性の検討

○長屋 聡美¹, 森下英理子^{1,2}, 金沢大学医薬保健DVT検診チーム¹

(¹金沢大学大学院病態検査学, ²金沢大学附属病院血液内科)

■一般口演 10 血栓性素因 (16:30~17:45)

座長：小亀 浩市 (国立循環器病研究センター分子病態部)

林 辰弥 (三重県立看護大学看護学部)

- O-037** ロングリードシーケンシング法を利用して同定したアンチトロンビン遺伝子 *SERPINC1* 全長の欠失
 ○叶 盛¹, 樋口 (江浦) 由佳¹, 辻 明宏², 小亀 浩市¹
 (1国立循環器病研究センター分子病態部, 2国立循環器病研究センター肺循環科)
- O-038** プロテイン C の二本鎖形成を阻害し血栓症を引き起こす p.Lys198Asn 変異体の分子病態解析
 ○築田 怜奈¹, 長屋 聡美¹, 安田 芽生¹, 富樫 朋貴¹, 上田 千華¹, 早瀬萌々香², 桑島 大和¹, 竹川清太郎¹, 西野 優那¹, 油井 陸斗², 目黒 牧子³, 堀家 慎一³, 宮崎 浩二⁴, 森下英理子^{1,5}
 (1金沢大学大学院病態検査学, 2金沢大学医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻, 3金沢大学疾患モデル総合研究センター疾患オミクス分野, 4北里大学医学部輸血・細胞移植学, 5金沢大学附属病院血液内科)
- O-039** 先天性血栓性素因となる Protein S-V87L の分子病態解析
 ○中榮 輝海¹, 山崎 智司¹, 鈴木 伸明², 岡本 修一³, 鈴木 敦夫⁴, 兼松 毅⁵, 勝見 章⁶, 小嶋 哲人^{3,7}, 松下 正^{2,5}, 田村 彰吾^{1,2}
 (1北海道大学, 2名古屋大学医学部附属病院輸血部, 3名古屋大学大学院医学系研究科, 4名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門, 5名古屋大学医学部附属病院検査部, 6国立長寿医療研究センター血液内科, 7愛知健康増進財団)
- O-040** Prothrombin Himi のプロテイン C 活性化能低下の原因およびフィブリン形成, 線溶阻害能の解明
 ○竹川清太郎¹, 長屋 聡美¹, 山口有梨香², 柿澤 鈴澄², 桑島 大和¹, 西野 優那¹, 森下英理子^{1,3}
 (1金沢大学医薬保健学総合研究科保健学専攻, 2金沢大学医薬保健学域保健学類検査技術科学専攻, 3金沢大学附属病院血液内科)
- O-041** 補体関連因子からみた妊娠高血圧症候群の病態解明についての検討
 ○根木 玲子^{1,2}, 大谷 克城³, 日高 義彦⁴, 上田 優輔², 伊田 和史¹, 小西 妙², 中西 篤史², 吉松 淳², 辻本 弘⁴, 下川 敏雄⁵, 小亀 浩市⁶, 若宮 伸隆⁷, 武田 壮一⁸, 宮田 敏行⁹, 井上 徳光⁴
 (1国立循環器病研究センターゲノム医療支援部, 2国立循環器病研究センター産婦人科部, 3酪農学園大学食と健康学類臨床栄養学研究室, 4和歌山県立医科大学分子遺伝学講座, 5和歌山県立医科大学臨床研究センター, 6国立循環器病研究センター分子病態部, 7酪農学園大学食と健康学類医学生理学, 8国立循環器病研究センター先端医療技術開発部, 9国立循環器病研究センター脳血管内科)

第6会場 9F 903会議室

■一般口演 11 血小板基礎研究 (9:40~10:40)

座長：柏木 浩和 (大阪大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学)

國島 伸治 (岐阜医療科学大学保健科学部)

O-042 脱シアル化血小板由来の生理活性物質が肝がん細胞株 HepG2 の増殖に及ぼす影響

○登尾 一平^{1,2}, 内場 光浩³, 川口 辰哉¹, 安永純一郎², 上妻 行則¹

(¹熊本保健科学大学医学検査学科, ²熊本大学大学院生命科学部血液・膠原病・感染症内科学講座, ³熊本大学病院輸血・細胞治療部)

O-043 ApoE ノックアウトマウスにおける慢性炎症と炎症性血小板の解析

○諸富 洋介¹, 金地佐千子², 安田 法子¹, 原田 結¹, 米満 吉和¹, 金地 泰典³

(¹九州大学革新的バイオ医薬創成学, ²九州大学大学院医学研究科臨床検査医学, ³スクリプス研究所)

O-044 人工髄液は抗血小板薬存在下で抑制された血小板活性化を回復できる

○原口日菜子¹, 荒尾ほほみ¹, 片平 帆風², 椎葉 瞳子², 山口明咲日², 川口 辰哉^{1,2}, 鈴木 良介³, 清水 信行³, 山本 哲哉³, 上妻 行則^{1,2}

(¹熊本保健科学大学大学院保健科学研究科, ²熊本保健科学大学保健科学部, ³横浜市立大学医学部医学研究科脳神経外科学)

O-045 開心術中・術後の出血は、体外循環に伴う血小板の質的変化・機能低下が原因である

○上妻 行則¹, 荒尾ほほみ¹, 古垣 達也², 川口 辰哉¹, 平松 祐司³, 鈴木 保之³

(¹熊本保健科学大学医学検査学科, ²筑波大学附属病院臨床工学部, ³筑波大学医学医療系心臓血管外科)

■一般口演 12 血小板造血 (10:50~11:40)

座長：石黒 精 (国立成育医療研究センター教育研修センター)

羽藤 高明 (愛媛県赤十字血液センター)

O-046 PDPN/CLEC-2 axis による巨核球サブタイプ分化制御の解析

○奈良 陸斗¹, 能藤日向子¹, 佐々木知幸², 築地 長治², 白井 俊光², 鎌田 歩果¹, 鈴木 伸明³, 鈴木 敦夫³, 岡本 修一⁴, 兼松 毅³, 鈴木奈瑠子³, 勝見 章⁵, 小嶋 哲人⁴, 井上 克枝², 松下 正³, 田村 彰吾^{1,3}

(¹北海道大学大学院保健科学院/研究院, ²山梨大学大学院総合研究部臨床検査医学講座, ³名古屋大学医学部附属病院輸血部/検査部, ⁴名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻, ⁵国立長寿医療研究センター)

O-047 KCNN4 を介したカリウム流出はミトコンドリア機能を介した血小板造血に寄与する

○江藤 浩之, Qihao Chen, 中村 壮, 杉本 直志

(京都大学iPS細胞研究所)

O-048 ミトコンドリア構成分子 UQCRC による細胞膜リモデリングを介した新規血小板産生機構の提唱

○江藤 浩之¹, 中村 壮¹, Theng Ho Cheong², 西村 珠子², 稲葉 岳彦², 末次 志郎²

(¹京都大学iPS細胞研究所, ²奈良先端科学技術大学院大学)

■一般口演 13 VWF 基礎 (15:20~16:05)

座長：稲葉 浩 (東京医科大学臨床検査医学分野)

岡本 修一 (名古屋大学大学院医学系研究科オミックス医療科学)

O-049 血小板無力症と von Willebrand 病合併症例の遺伝子及び病態解析

○島 隆宏¹, Yang Zhang², 上田沙央理², 西田 碧², 山中 育未², 諸富 洋介³, 岡村 孝⁴, 赤司 浩一¹, 國崎 祐哉², 金地佐千子²

(¹九州大学病院血液・腫瘍・心血管内科, ²九州大学医学研究院臨床検査医学, ³九州大学薬学研究院革新的バイオ医薬創成学, ⁴社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院)

O-050 LED-UVC at 265 nm 照射による von Willebrand 因子マルチマーの変化

○林 智也¹, 藤村 吉博¹, 正木美香子¹, 小熊久美子², 瀧崎 晶弘¹, 三島 優一¹, 保井 一太¹, 石井 博之¹, 阿蘇 秀樹¹, 下垣 一成¹, 櫻井 嘉彦³, 平山 文也⁴, 谷 慶彦⁵, 木村 貴文¹, 瀧原 義宏¹

(¹日本赤十字社近畿ブロック血液センター, ²東京大学大学院工学系研究科, ³奈良県赤十字血液センター, ⁴大阪府赤十字血液センター, ⁵日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

O-051 急性膵炎の病態形成および重症化における von Willebrand 因子の関与

○野田 正志^{1,2}, 高林 葉子¹, 坂田 飛鳥³, 嶋 緑倫³, 辰巳 公平^{1,3}

(¹奈良県立医科大学血栓止血先端医学, ²天王寺どうぶつ病院, ³奈良県立医科大学血栓止血医薬生物学)

■一般口演 14 凝固波形解析 (16:30~17:30)

座長：松本 智子 (天理大学医療学部臨床検査学科)

涌井 昌俊 (慶應義塾大学医学部臨床検査医学)

O-052 凝固波形 (CWA) -APTT における Area under the curve (AUC)の有用性

○和田 英夫^{1,2}, 白木 克哉¹, 新保 秀人¹, 島岡 要²

(¹三重県立総合医療センター, ²三重大学医学部分子病態学講座)

O-053 APTT による凝固波形解析 (APTT-CWA) 標準化の検討—フィブリノゲン量との関連—

○松本 智子¹, 川邊美智子¹, 涌井 昌俊², 和田 英夫³, 徳永 尚樹⁴, 小川 孔幸⁵

(¹天理大学医療学部臨床検査学科, ²慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室, ³三重県立総合医療センター連携大学院講座, ⁴(社医)川島病院診療技術部検体検査技術科, ⁵群馬大学医学部附属病院血液内科)

O-054 凝固波形解析に基づく Emicizumab の検出

○下西 成人¹, 萩原 建一², 大西 健悟³, 川辺 俊樹³, 西尾 朋久³, 野上 恵嗣²

(¹奈良県立医科大学血栓止血分子病態学講座, ²奈良県立医科大学小児科, ³積水メディカル株式会社)

O-055 血栓傾向を示す異常フィブリノゲンを検出可能な改変 Clauss-CWA 法の構築

○鈴木 敦夫¹, 鈴木 伸明², 田村 彰吾³, 岡本 修一⁴, 兼松 毅⁵, 小嶋 哲人⁶,
松下 正^{2,5}

(¹名古屋大学医療技術部臨床検査部門, ²名古屋大学医学部附属病院輸血部, ³北海道大学大学院保健科学研究
院病態解析学分野, ⁴名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻オミックス医療科学, ⁵名古屋大学医学
部附属病院検査部, ⁶愛知健康増進財団)

6月28日(土)

第3会場 5F 小ホール②

■一般口演 15 血友病基礎研究 (8:30~9:30)

座長：柏倉 裕志 (自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門)

中島 由翔 (奈良県立医科大学附属病院小児科学講座)

O-056 エクソン内スプライスサイトバリエーションが原因となる中等症血友病 A

○土田 晃輔^{1,3,5}, 柏倉 裕志^{1,2}, 肥谷うちな¹, 佐藤 孝弘¹, Nemekhbayar Baatartsogt^{1,2},
Khishigiargal Batjargal¹, 早川 盛禎^{1,2}, 稲葉 浩⁴, 木内 英⁴, 大森 司^{1,2}

(¹自治医科大学生化学講座病態生化学部門, ²自治医科大学遺伝子治療研究センター, ³自治医科大学小児科,
⁴東京医科大学臨床検査医学科, ⁵札幌医科大学小児科)

O-057 Universal Base Editing for Hemophilia

○バトルツォグト ネメフバヤル¹, 柏倉 裕志¹, 平本 貴史¹, 伊藤 里奈², 佐藤理佳子²,
長尾 恭光¹, 成岡 光夏³, 高田 春風³, 早川 盛禎¹, バトジャルガル キシギジャルガル¹,
富樫 朋貴^{1,4}, 星野 温⁵, 清水 太郎⁶, 佐藤 悠介², 石田 竜弘³, 濡木 理⁷,
大森 司¹

(¹Jichi Medical University, Japan, ²Hokkaido University, Japan, ³Tokushima University, Japan, ⁴Kanazawa
University, Japan, ⁵Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan, ⁶Osaka University, Japan, ⁷The University of
Tokyo, Japan)

O-058 せん断力の負荷が実験動物血液の凝固能特性に与える影響の調査

○熊野 穰, 坂田 美乃, 丸山 修

(産業技術総合研究所健康医工学研究部門)

O-059 血友病関節症の解明と間葉系幹細胞を用いた新規治療法開発

○小川 実加¹, 伊藤 秀明², 高 四強³, 中山 享之^{1,3}

(¹愛知医科大学病院中央臨床検査部, ²愛知医科大学基礎医学部門病理学講座, ³愛知医科大学病院輸血部)

■一般口演 16 血友病リハビリ (9:40~10:40)

座長：寺部 健哉 (名古屋大学医学部附属病院整形外科・リウマチ科)

竹谷 英之 (国立病院機構敦賀医療センターリハビリテーション科)

O-060 当院の重症血友病患者に対するリハビリテーション介入の効果—1年間のフォローアップを経て—

○久保田純弥¹, 天羽健太郎², 室崎瑛理奈¹, 大山恵美子¹, 小笠原真歩¹, 夏田 明子³, 吉原 宏樹⁴,
大野久美子⁵, 長谷川大輔⁴

(¹聖路加国際病院リハビリテーション科, ²聖路加国際病院整形外科, ³聖路加国際病院看護部, ⁴聖路加国際
病院小児科, ⁵東京大学大学院医学系研究科)

- O-061** スポーツ習慣の継続により QOL の向上を認めた重症型血友病 A の男児例
○古市 康子¹, 土井 政明¹, 木下 清二¹, 野上 恵嗣², 根津 智子³
(¹市立東大阪医療センター小児科, ²奈良県立医科大学小児科学教室, ³畿央大学健康栄養学科)
- O-062** 多関節に末期関節症を有する血友病症例に対する大腿切断術後の理学療法と退院支援の経験
○後藤 美和¹, 大野久美子², 柴田 晃希³, 高橋 雅人¹, 西川 真子⁴, 緒方 徹⁵,
藤原 清香¹
(¹東京大学医学部附属病院リハビリテーション部, ²東京大学大学院医学系研究科難治性骨疾患治療開発講座, ³(株)田沢製作所, ⁴東京大学医学部附属病院検査部, ⁵東京大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学分野)
- O-063** 関節症の診断や自覚症状なく関節機能低下を認めた血友病 A 男児のリハビリテーションの 1 年評価
○室崎瑛理奈¹, 天羽健太郎², 久保田純弥¹, 大山恵美子¹, 夏田 明子³, 吉原 宏樹⁴, 大野久美子⁵,
長谷川大輔⁴
(¹聖路加国際病院リハビリテーション科, ²聖路加国際病院整形外科, ³聖路加国際病院看護部, ⁴聖路加国際病院小児科, ⁵東京大学大学院医学系研究科)

■一般口演 17 血友病エミシズマブ 1 (13:10~14:10)

座長：山下 敦己（聖マリアンナ医科大学小児科）

下西 成人（奈良県立医科大学血栓止血分子病態学講座）

- O-064** 正常妊婦および血友病 A 保因妊婦の血漿を用いたエミシズマブの凝固能の検討
○武山 雅博¹, 古川 晶子¹, 原田 卓², 添田 哲弘², 荻原 建一¹, 下西 成人¹, 中島 由翔¹,
赤坂珠理晃³, 市川麻祐子³, 牧野 佑子³, 三宅 龍太³, 上林 潤也³, 樋口 渚³, 日野有紀子³,
木村 文則³, 野上 恵嗣¹
(¹奈良県立医科大学小児科, ²中外製薬株式会社, ³奈良県立医科大学産婦人科)
- O-065** 妊娠マウスモデルにおける Emicizumab の経胎盤移行に関する検討
○古川 晶子¹, 堀内 薫¹, 武山 雅博¹, 水町 邦義¹, 原田 卓², 添田 哲弘², 小田 朗永¹,
下西 成人¹, 野上 恵嗣¹
(¹奈良県立医科大学小児科, ²中外製薬株式会社)
- O-066** インヒビター非保有血友病 A 乳児におけるエミシズマブの有用性に関する検討
○長江 千愛¹, 森 美佳¹, 梅沢陽太郎², 足利 朋子¹, 山下 敦己², 秋田美恵子¹, 吉川喜美枝³,
瀧 正志¹
(¹聖マリアンナ医科大学小児科, ²聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科, ³聖マリアンナ医科大学病院看護部)
- O-067** ヒト化血友病 A マウスを用いた関節出血後の骨障害に対する Emicizumab の予防効果の検証
○原田 卓^{1,2}, 松本 尚樹^{1,2}, 渡邊 知幸¹, 坂田 飛鳥^{2,3}, 添田 哲弘^{1,2}, 野上 恵嗣^{2,3}
(¹中外製薬株式会社, ²奈良県立医科大学血栓止血医薬生物学共同研究講座, ³奈良県立医科大学小児科)

■一般口演 18 血友病エミシズマブ 2 (14:20~15:20)

座長：田中 朝志 (東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科)

内場 光浩 (熊本大学病院輸血・細胞治療部)

O-068 エミシズマブと遺伝子組換え第 VIII 因子製剤の相加効果に関する in vitro 評価

○原田 侑子¹, 篠澤 圭子¹, 稲葉 浩¹, 山口 知子¹, 三橋 彩乃¹, 金子 竣¹, 宮下 竜伊¹, 近澤 悠志¹, 備後 真登¹, 村松 崇¹, 蜂谷 敦子^{1,2}, 萩原 剛¹, 天野 景裕¹, 木内 英¹

(¹東京医科大学臨床検査医学分野, ²新渡戸文化短期大学臨床検査学科)

O-069 低濃度 Emicizumab 存在下における血友病 A 止血製剤と包括的凝固能の評価

○川崎 有輝, 中島 由翔, 萩原 建一, 野上 恵嗣

(奈良県立医科大学小児科)

O-070 Emicizumab と活性型プロトロンビン複合体製剤の併用における活性化プロテイン C の抵抗性

○中島 由翔¹, 大砂 光正¹, 下西 成人^{1,2}, 古川 晶子¹, 萩原 建一¹, 野上 恵嗣¹

(¹奈良県立医科大学附属病院小児科, ²奈良県立医科大学血栓止血分子病態学講座)

O-071 FIX と FX の添加による Emicizumab 投与血友病 A 患者モデルにおける包括的凝固能の検討

○大砂 光正¹, 中島 由翔¹, 下西 成人^{1,2}, 古川 晶子¹, 萩原 建一¹, 野上 恵嗣¹

(¹奈良県立医科大学附属病院小児科, ²奈良県立医科大学血栓止血分子病態学講座)

第5会場 9F 902会議室

■一般口演 19 自己免疫性凝固因子欠乏症 (8:30~9:30)

座長：家子 正裕 (札幌保健医療大学保健医療学部看護学科)

惣宇利正善 (山形大学大学院医学部研究科公衆衛生学・衛生学講座)

O-072 3度熱傷を契機に再発の診断となった自己免疫性第 V 因子欠乏症の一例

○梶田 樹矢¹, 小川 孔幸^{1,2}, 松本 彬¹, 根生 義巳¹, 塚田 明彦¹, 大崎 洋平¹, 武井 寿史¹, 小林 宣彦¹, 宮澤 悠里¹, 家子 正裕^{2,3}, 橋口 照人^{2,4}, 半田 寛¹

(¹群馬大学医学部附属病院血液内科, ²厚労科研事業“自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成研究班”, ³札幌保健医療大学保健医療学部看護学科, ⁴鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野)

O-073 凝固第 V 因子インヒビター症例における抗凝固因子抗体量の測定意義

○内藤 澄悦¹, 家子 正裕², 吉田 美香³, 大村 一将⁴

(¹北海道医療大学病院臨床検査部, ²札幌保健医療大学保健医療学部看護学科, ³北海道医療大学歯科クリニック臨床検査部, ⁴北海道医療大学予防医療科学センター／北海道医療大学病院内科)

- O-074** 植込み型補助人工心臓装着後に LA 合併自己免疫性後天性第 V 因子欠乏症を発症した一例
 ○中島 康太¹, 光黒 真菜¹, 森 優花¹, 高田 耕自¹, 住田 善之¹, 河内 啓貴², 渡邊 琢也², 塚本 泰正², 家子 正裕^{3,5}, 橋口 照人^{4,5}, 相庭 武司¹
 (¹国立循環器病研究センター臨床検査部, ²国立循環器病研究センター移植医療部, ³札幌保健医療大学保健医療学部, ⁴鹿児島大学大学院医歯学総合研究科, ⁵厚労科研「均てん化」研究班)
- O-075** 腹部手術後の繰り返す出血を契機に発見された自己免疫性後天性凝固第 XIII 因子欠乏症の一例
 ○松田 将門¹, 惣宇利正善^{2,6}, 塚田 泰彦³, 小川 一英¹, 橋口 照人^{4,6}, 池添 隆之⁵
 (¹福島県立医科大学臨床検査学科, ²山形大学大学院医学研究科公衆衛生学・衛生学講座, ³福島県立医科大学医学部救急医療学講座, ⁴鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学分野, ⁵福島県立医科大学医学部血液内科学講座, ⁶厚労科研「自己免疫性出血症診療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成」研究班)

■一般口演 20 線溶 (9:40~10:55)

座長：中山 享之 (愛知医科大学輸血・中央臨床検査部)

川崎 薫 (近畿大学医学部産科婦人科学教室)

- O-076** 血管内皮細胞における線溶亢進が細胞間相互作用に及ぼす影響
 ○佐野 秀人
 (東海大学医学部生体機能学)
- O-077** 筋再生における線溶系因子の発現動態に関する研究
 ○阿部 瑞樹¹, 増澤 (尾崎) 依², 細野 崇^{1,2}, 関 泰一郎^{1,2}
 (¹日本大学大学院生物資源科学研究科, ²日本大学生物資源科学部バイオサイエンス学科)
- O-078** 変形性膝関節症の骨膜病変の発生には uPA 阻害因子の SERPINA5 (PCI) が関与する
 ○鈴木 宏治¹, 西岡 淳二², 秋田 展幸³, 米田 操², 石須 良一⁴, 山崎 隆⁵
 (¹鈴鹿医療科学大学薬学部薬学科, ²鈴鹿医療科学大学保健衛生学部臨床検査学科, ³鈴鹿医療科学大学医用工学部臨床工学科, ⁴医療法人あのおクリニック, ⁵医療法人整形外科たかしくりニック)
- O-079** 脳梗塞急性期の病態形成における二次血栓形成の寄与の検討
 ○森池 優雅¹, 中野 夢太¹, 俣野 泰毅², 鈴木 康裕³, 梅村 和夫², 永井 信夫¹
 (¹長浜バイオ大学動物生理学研究室, ²浜松医科大学医学部医学科薬理学教室, ³奥羽大学薬学部)
- O-080** 造血器悪性腫瘍由来 DIC での DPC データからの予後解析
 ○関 義信, 山田 隆, 瀧澤 淳, 曾根 博仁
 (新潟大学血液・内分泌・代謝学分野)

■一般口演 21 血友病 QOL2 (13:10~14:10)

座長：大野久美子（東京大学大学院医学系研究科難治性骨疾患治療開発講座）

酒井 道生（北九州安部山公園病院）

O-081 TSUBASA Study：先天性血友病 A 患者のエミシズマブ投与下での身体活動と出血，QOL，安全性の関連

○天野 景裕^{1,2,3,4,5,6,7,8,9}，藤井 輝久²，澤田 暁宏³，長尾 梓⁴，長江 千愛⁵，野島 正寛⁶，鈴木 伸明⁷，野坂 大輔⁸，志村 朋美⁸，菅尾 宜正⁸，野上 恵嗣⁹

(¹東京医科大学病院臨床検査医学科，²広島大学病院輸血部・血友病診療センター，³兵庫医科大学呼吸器・血液内科，⁴関西医科大学附属病院血液腫瘍内科，⁵聖マリアンナ医科大学病院小児科，⁶東京大学医科学研究所 TR・治験センター，⁷名古屋大学医学部附属病院輸血部，⁸中外製薬株式会社，⁹奈良県立医科大学附属病院小児科)

O-082 血友病性関節症患者で中年期に急激な ADL 低下により社会復帰支援を要した 2 例

○藤原 清香¹，後藤 美和²，柴田 晃希³，西川 真子⁴，大野久美子⁵，緒方 徹⁶

(¹東京大学医学部附属病院リハビリテーション科，²東京大学医学部附属病院リハビリテーション部，³(株)田沢製作所，⁴東京大学医学部附属病院検査部，⁵東京大学大学院医学系研究科難治性骨疾患治療開発講座，⁶東京大学大学院医学系研究科リハビリテーション医学分野)

O-083 日本の血友病患者と医療者間のコミュニケーションギャップと Shared Decision Making の可能性

○石村 匡崇¹，小倉 妙美²，木谷 曜子³，田中 佑佳³，藤井 輝久⁴

(¹九州大学周産期・小児医療学講座，²静岡県立こども病院血友病診療センター，³サノフィ株式会社スペシャルティケアメディカル本部希少血液疾患メディカル部，⁴広島大学病院輸血部・血友病診療センター)

O-084 血友病診療におけるオンライン診療システムを使った遠隔診療連携：症例報告

○山之内 純¹，大野久美子²，日野もえ子³，細貝 亮介⁴，小倉 妙美⁵，鈴木 伸明⁶，西田 恭治⁷，武山 雅博⁷，野上 恵嗣⁸，古川 晶子⁸，藤井 輝久⁹，白山 理恵¹⁰，中尾 綾¹，竹内 公一³，白幡 聡¹⁰

(¹愛媛大学輸血・細胞治療部，²東京大学医科学研究所附属病院，³千葉大学医学部附属病院，⁴新潟大学医歯学総合病院，⁵静岡県立こども病院，⁶名古屋大学医学部附属病院，⁷国立病院機構大阪医療センター，⁸奈良県立医科大学附属病院，⁹広島大学病院，¹⁰産業医科大学病院)

■一般口演 22 血管免疫その他 (14:20~15:20)

座長：築地 長治（山梨大学大学院医学工学総合研究部医学域臨床検査医学講座）

岡田 英志（岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野）

O-085 血管内皮細胞の KLF2 は細胞外環境の硬さに応答して細胞機能を制御する

○岡本 貴行，臼田 春樹，和田孝一郎

(鳥根大学医学部薬理学講座)

O-086 細菌メタロプロテアーゼによる血管新生阻害プラスミノゲン断片の *in vivo* 生成の試み

○王 韜霖¹，曹 溢森¹，後藤 綾乃¹，山本 哲郎²，鈴木絵里子¹，蓮見 恵司¹

(¹東京農工大学大学院農学府，²EPS創薬株式会社)

- O-087** ヒト iPS 細胞由来肝類洞内皮前駆細胞を用いた細胞移植の基礎的検討
 ○三谷 成二¹, 高林 葉子¹, 細田 千裕¹, 小野寺 悠¹, 嶋 緑倫², 辰巳 公平^{1,2}
 (¹奈良県立医科大学血栓止血先端医学講座, ²奈良県立医科大学血栓止血医薬生物学共同研究講座)
- O-088** 発生骨髄の時空間的組織変遷に伴うポドプラニン陽性間質細胞の挙動解明
 ○能藤日向子¹, 奈良 陸斗¹, 築地 長治², 鈴木 伸明³, 岡本 修一⁴, 鈴木 敦夫⁵, 兼松 毅⁶,
 勝見 章⁷, 小嶋 哲人^{4,8}, 井上 克枝², 松下 正^{3,6}, 田村 彰吾^{1,3}
 (¹北海道大学大学院保健科学院/研究院, ²山梨大学大学院総合研究部臨床検査医学講座, ³名古屋大学医学部
 附属病院輸血部, ⁴名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻, ⁵名古屋大学医学部附属病院医療技術
 部臨床検査部門, ⁶名古屋大学医学部附属病院検査部, ⁷国立研究開発法人国立長寿医療研究センター血液内科,
⁸愛知健康増進財団)

第6会場 9F 903会議室

■一般口演 23 血栓症予測 (8:30~9:30)

座長：辻 明宏 (国立循環器病研究センター肺循環科)

金地佐千子 (九州大学大学院医学研究院臨床検査医学分野)

- O-089** がん診断時に脳梗塞発症リスクが高い患者を同定する予測モデルの開発と検証
 ○河野 友裕¹, 権 泰史¹, 森島 敏隆², 高杉 純司¹, 神吉 秀明¹, 宮代 勲²,
 望月 秀樹¹
 (¹大阪大学大学院医学系研究科神経内科学, ²大阪国際がんセンターがん対策センター)
- O-090** 同種造血幹細胞移植後の静脈血栓塞栓症の発症予測モデル構築
 ○黒澤 修兵¹, 加藤 可那², 貞賀 泰孝², 近藤 花織², 酒井 知史², 加藤 千賀², 大内 史彦²,
 島袋 将志², 神宮寺敦史², 新谷 直樹², 遠矢 嵩², 清水 啓明², 名島 悠峰², 小林 武²,
 原口 京子¹, 奥山 美樹¹, 北原 康行³, 土岐 典子²
 (¹がん・感染症センター都立駒込病院輸血・細胞治療科, ²がん・感染症センター都立駒込病院血液内科, ³がん・
 感染症センター都立駒込病院循環器内科)
- O-091** aPS/PT は ACR/EULAR 抗リン脂質抗体症候群新分類基準の臨床スコア高値と関連する
 ○安田 充孝, 藤枝雄一郎, 井上 雄太, 守谷 悠, 久田 諒, 河野 通仁,
 オルガアメンゲアル, 渥美 達也
 (北海道大学大学院免疫・代謝内科学教室)
- O-092** 大腿骨近位部骨折急性期の D ダイマー高値と抗血栓療法, 凝固系や血算との関係
 ○春原 伸行, 高畑 洋, 伊藤 貴文, 勝呂 俊昭, 藤岡 洋成
 (菊名記念病院)

■一般口演 24 血栓症症例報告 (9:40~10:40)

座長：堀内 久徳 (奈良市立看護専門学校)

落合 正行 (九州大学環境発達医学研究センター)

- O-093** 濾胞性リンパ腫完全寛解期に構音障害, 右上肢麻痺で発症し, heparin と DOAC で治った Trousseau 症候群
○土蔵太一郎^{1,2}, 今井 陽平¹, 嵯峨 玲奈¹, 日台 裕子¹, 秋山 秀樹¹, 村井 善郎¹, 本村小百合¹
(¹東京都立多摩北部医療センター血液内科, ²日本医科大学血液内科)
- O-094** 両心室ペーシング機能付き除細動器植込後に静脈血栓症を発症した心アミロイドーシスの一例
○綾部 健吾
(宮崎市郡医師会病院循環器内科)
- O-095** 左室補助装置 Impella 使用中に異なる機序による高度溶血を認めた 2 例
○森下 圭¹, 皆月 隼¹, 蛭間 貴司¹, 植田 智美¹, 金子 沙樹¹, 石田 純一¹, 網谷 英介¹, 波多野 将¹, 安部 樹², 河野 正憲², 武田 憲彦¹
(¹東京大学医学部附属病院循環器内科, ²東京大学医学部附属病院アレルギーリウマチ内科)
- O-096** ヘパリン投与中の電撃性紫斑病および会陰出血に対して乾燥濃縮人 PC 製剤を用いた PC 欠乏症の 1 例
○中村 彰秀¹, 松本 剛史^{1,2,3}, 山田 英嗣¹, 塩谷 拓也¹, 名藤 佑真¹, 伊野 和子¹, 杉本 由香¹, 俵 功¹
(¹三重大学医学部附属病院血液内科, ²三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部, ³埼玉医科大学総合医療センター輸血部)

■一般口演 25 ITP 治療 1 (13:10~14:10)

座長：加藤 恒 (大阪大学医学部附属病院血液・腫瘍内科学)

宮川 義隆 (埼玉医科大学病院血液内科)

- O-097** 免疫性血小板減少症に対するトロンボポエチン受容体作動薬の血栓症リスクの検討
○吉田 正宏¹, 井山 諭², 井端 淳³, 五十嵐哲祥⁴, 近藤 健⁵, 柿木 康孝⁶, 長谷山美仁⁷, 永嶋 貴博⁸, 酒井 基⁹, 太田 秀一¹⁰
(¹製鉄記念室蘭病院血液内科, ²札幌医科大学血液内科学, ³札幌厚生病院血液内科, ⁴天使病院血液内科, ⁵愛育病院内科・血液内科, ⁶市立旭川病院血液内科, ⁷斗南病院血液内科, ⁸北見赤十字病院内科・総合診療科, ⁹手稲溪仁会病院血液内科, ¹⁰札幌北楡病院血液内科)
- O-098** Effect of Efgartigimod IV on Immature Platelet Fraction in Primary Immune Thrombocytopenia
○西脇 嘉一¹, 宮川 義隆², Filip Matthijssens³, Jaime Ayguasanosa³, Lan Lan³, Anna Hultberg³, Peter Ulrichs³
(¹東京慈恵会医科大学附属柏病院腫瘍・血液内科, ²埼玉医科大学血液内科, ³argenx)

- O-099** 慢性/持続性の ITP におけるメザギタマブ(TAK-079)の安全性/忍容性及び有効性:ISTH2024Encore
 ○富山 佳昭^{1,2}, David Kuter³, Draen Pulani^{4,5}, Andrea Patriarca⁶, Renchi Yang⁷, Katya Sapunarova⁸,
 三浦 勝浩⁹, MK Farmer¹⁰, Scarlett Wang¹⁰, Aimee Sundberg¹⁰
 (¹Uegahara Hospital, Hyogo, Japan, ²Osaka University, Osaka, Japan, ³Massachusetts General Hospital, Harvard
 Medical School, Boston, MA, USA, ⁴University Hospital Center Zagreb, University of Zagreb, School of Medicine,
 Zagreb, Croatia, ⁵University of Zagreb, School of Medicine, Zagreb, Croatia, ⁶AOU Maggiore della Carità and
 University of Eastern Piedmont, Novara, Italy, ⁷Chinese Academy of Medical Sciences and Peking Union Medical
 College, Tianjin, China, ⁸Medical University of Plovdiv, Plovdiv, Bulgaria, ⁹Nihon University Itabashi Hospital/Division
 of Hematology and Rheumatology, Department of Medicine, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan,
¹⁰Takeda Development Center Americas, Inc., Cambridge, MA, USA)
- O-100** Rilzabrutinib in Previously Treated ITP: LUNA 3 Results
 ○Yoshitaka Miyakawa¹, Kuter David J², Ghanima Waleed³, Cooper Nicola⁴, Liebman Howard A⁵
 (¹Saitama Medical University, ²Massachusetts General Hospital, ³Østfold Hospital Trust, ⁴Hammersmith Hospital,
⁵University of Southern California)

■一般口演 26 ITP 治療 2 (14:20~15:10)

座長：山之内 純（愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

横山 健次（東海大学医学部附属八王子病院血液腫瘍内科）

- O-101** 特発性血小板減少性紫斑病の難治例に対する FcRn 阻害薬エフガルチギモドの使用経験
 ○麻生 智愛, 鈴木 康大, 大崎 篤史, 坂本 朋之, 宮川 義隆
 (埼玉医科大学病院血液内科)
- O-102** 当院におけるホスタマチニブを使用した 4 例の検討
 ○鈴木奈瑠子¹, 藤井 智基¹, 伊藤 怜花², 原田 靖彦¹, 平賀 潤二¹
 (¹JA愛知厚生連豊田厚生病院血液内科, ²JA愛知厚生連豊田厚生病院総合内科)
- O-103** 当院における難治性免疫性血小板減少症に対する fostamatinib の使用経験
 ○平野 雄介¹, 板村 英和^{1,2}, 三橋 達也¹, 草場 香那¹, 吉村麻里子¹, 木村 晋也¹
 (¹佐賀大学医学部附属病院血液腫瘍内科, ²佐賀大学医学部附属病院輸血部)

6月29日(日)

第3会場 5F 小ホール②

■一般口演 27 血友病エファネソクトコグアルファ (8:30~9:30)

座長：天野 景裕 (東京医科大学臨床検査医学分野)

藤井 輝久 (広島大学病院輸血部)

O-104 小児重症血友病 A 患者でのエファネソクトコグアルファの安全性、有効性：XTEND-ed 試験中間解析

○武山 雅博¹, Malec Lynn², Nolan Beatrice³, KC Chan Anthony⁴, Albisetti Manuela⁵, Chou Sheng-Chieh⁶, Zulfikar Bulent⁷, Simpson Mindy⁸, Feng Liqi¹⁰, Palmborg Helena¹⁰, Neill Graham¹⁰, Abad-Franch Lydia¹⁰, Gunawardena Sriya¹⁰, Fijnvandraat Karin⁹

(¹大阪医療センター血友病科, ²Medical College of Wisconsin, Milwaukee, USA, ³Children's Health Ireland at Crumlin, Dublin, Republic of Ireland, ⁴McMaster Children's Hospital, Hamilton, Canada, ⁵University Children's Hospital Zurich, Zurich, Switzerland, ⁶National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan, ⁷Istanbul University Oncology Institute, Istanbul, Turkey, ⁸Rush University Medical Center, Chicago, USA, ⁹University of Amsterdam, Netherlands, ¹⁰Sanofi/Sobi)

O-105 エファネソクトコグアルファ投与下重症血友病 A 患者の長期関節評価：XTEND-ed 試験中間解析結果

○鈴木 伸明¹, von Drygalski Annette², Konigs Christoph³, Konkle Barbara A⁴, Hermans Cedric⁵, Khoo Liane^{4,6}, Fischer Kathelijn⁷, Guo Hailing⁸, Khan Umer⁸, Bystricka Linda⁹, Santagostino Elena⁹, Mamikonian Lara⁸, Klamroth Robert¹⁰

(¹名古屋大学医学部附属病院輸血部, ²University of California, San Diego, USA, ³Goethe University, Frankfurt, Germany, ⁴the University of Washington, Seattle, USA, ⁵Saint-Luc University Hospital, Brussels, Belgium, ⁶Royal Prince Alfred Hospital, Sydney, Australia, ⁷Utrecht University, Utrecht, The Netherlands, ⁸Sanofi, Bridgewater, Cambridge, USA, ⁹Sobi, Basel, Switzerland, ¹⁰Vivantes Klinikum, Friedrichshain, Berlin, Germany)

O-106 第 III 相 XTEND 臨床試験プログラムでのエファネソクトコグアルファによる周術期管理

○岸本磨由子¹, KC Chan Anthony², Susen Sophie³, Khoo Liane⁴, von Drygalski Annette⁵, Oldenburg Johannes⁶, Shen Ming-Ching⁷, Peyvandi Flora⁸, Tarango Cristina⁹, Chowdary Pratima^{9,10}, Mamikonian Lara¹⁰, Palmborg Helena¹⁰, Dumont Jennifer¹⁰, Santagostino Elena¹⁰, Hermans Cedric⁹

(¹やすまゆファミリークリニック, ²McMaster Children's Hospital, Hamilton, Canada, ³Centre Hospitalier Universitaire de Lille, Lille, France, ⁴Royal Prince Alfred Hospital, Sydney, Australia, ⁵University of California, San Diego, USA, ⁶University Hospital Bonn, Bonn, Germany, ⁷Changhua Christian Hospital/National Taiwan University Hospital, Taiwan, ⁸Angelo Bianchi Bonomi Hemophilia and Thrombosis Center, Milano, Italy, ⁹University of Cincinnati College of Medicine, Cincinnati Children's Hospital Medical Center, USA; Royal Free Hospital, London, UK; Saint-Luc University Hospital, Brussels, Belgium, ¹⁰Sanofi / Sobi)

O-107 エファネソクトコグアルファの凝固反応における生化学的特性の解明○垣本 月海¹, 古川 晶子², 西村 恵子², 野上 恵嗣²(¹奈良県立医科大学医学部医学科, ²奈良県立医科大学小児科)**■一般口演 28 血友病 Mim8 (9:40~10:40)**

座長：康 勝好 (埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科)

野上 恵嗣 (奈良県立医科大学小児科)

O-108 出血抑制以外の Mim8 の効果：血友病 A の多面的患者報告アウトカムの検討 (FRONTIER2 試験)○天野 景裕¹, Hermans Cedric², Ay Cihan³, Escuriola Carmen⁴, Meldgaard Rikke Medom⁵, Rakhmatullin Ilgiz⁵, Tomuleasa Ciprian⁶, Vulpen Lize Fie Ditteke van⁷, Wang Michael⁸, Karczmarz Irena Woznica⁹, Susen Sophie¹⁰(¹東京医科大学臨床検査医学分野, ²Universite Catholique de Louvain (UCLouvain), ³Medical University of Vienna, Vienna, Austria, ⁴HZRM, Frankfurt, Germany, ⁵Novo Nordisk A/S, Soborg, Denmark, ⁶Iuliu Hatieganu University of Medicine and Pharmacy, Ion Chiricuta Institute of Oncology, Cluj-Napoca, Romania, ⁷Utrecht University, Utrecht, the Netherlands, ⁸University of Colorado Hemophilia and Thrombosis Center, Aurora, Colorado, ⁹Children's University Hospital, Lublin, Poland, ¹⁰Hemostasis and Transfusion Department, University of Lille, Lille University Hospital, Lille, France)**O-109** インヒビター保有, 非保有血友病 A 患者に対する Mim8 定期投与の有効性と安全性：FRONTIER2 試験○福武 勝幸¹, Mancuso Maria Elisa², Tadashi Matsushita³, Chowdary Pratima⁴, Lentz Steven R⁵, Mahlangu Johnny⁶, Shanmukhaiah Chandrakala⁷, Rakhmatullin Ilgiz⁸, Jorgensen Pernille Juul⁸, Oldenburg Johannes⁹(¹医療法人財団荻窪病院血液凝固科, ²IRCCS Humanitas Research Hospital, Milan, Italy, ³Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan, ⁴Katharine Dormandy Haemophilia and Thrombosis Centre, Royal Free Hospital, London, UK, ⁵University of Iowa, Iowa City, IA, USA, ⁶University of the Witwatersrand, National Health Laboratory Service, and Charlotte Maxeke Johannesburg Academic Hospital, Johannesburg, South Africa, ⁷King Edward Memorial Hospital and Seth Gordhandas Sunderdas Medical College, Parel, Mumbai, India, ⁸Novo Nordisk A/S, Soborg, Denmark, ⁹University Clinic Bonn AoR, Institute of Experimental Haematology and Transfusion Medicine, Bonn, Germany)**O-110** 小児血友病 A 患者対象の Mim8 予防投与の安全性及び有効性：FRONTIER3 試験○康 勝好¹, Mahlangu Johnny², Eyster M, Elaine³, Fijnvandraat Karin⁴, Kenet Gili⁵, Woznica-Karczmarz Irena⁶, Wu Runhui⁷, You Chur Woo⁸, Florencio Andrea Paramo⁹, Zaw Jay Jay Thaug⁹, Carcao Manuel¹⁰(¹埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科, ²University of the Witwatersrand and National Health Laboratory Service, ³Penn State College of Medicine, Hershey, Pennsylvania, USA, ⁴University of Amsterdam, Emma Children's Hospital, Pediatric Hematology, Amsterdam, the Netherlands; Department of Plasma Proteins, Sanquin Research, Amsterdam, the Netherlands, ⁵National Hemophilia Center, Sheba Medical Center, Tel HaShomer, Israel, ⁶Children's University Hospital, Lublin, Poland, ⁷Chinese Academy of Medical Sciences and Peking Union Medical College, Tianjin, China, ⁸Daejeon Eulji Medical Center, Eulji University, Daejeon, Republic of Korea, ⁹Novo Nordisk A/S, Soborg, Denmark, ¹⁰University of Toronto, Toronto, Canada)

O-111 血友病 A 患者を対象とした Mim8 による 2 週に 1 回定期投与の安全性と有効性：FRONTIER4 中間解析

○松下 正¹, Chowdary Pratima², Banchev Atanas³, Kavakli Kaan⁴, Kremer Hovinga Johanna A⁵, Windyga Jerzy⁶, Jimenez-Yuste Victor⁷, Bovet Julien⁸, Garcia Fernandez Llenalia Maria⁹, Young Guy¹⁰
(¹名古屋大学医学部附属病院輸血部・検査部, ²Royal Free Hospital, London, UK, ³University Hospital Tsaritsa Giovanna - ISUL, Sofia, Bulgaria, ⁴Ege University Children's Hospital, Izmir, Turkey, ⁵Bern University Hospital, University of Bern, Bern, Switzerland, ⁶Institute of Hematology and Transfusion Medicine, Warsaw, Poland, ⁷Hospital Universitario La Paz, Universidad Autonoma de Madrid, Madrid, Spain, ⁸Novo Nordisk, Paris, France, ⁹Novo Nordisk, Spain, ¹⁰Children's Hospital Los Angeles, University of Southern California Keck School of Medicine, Los Angeles, California, USA)

第4会場 9F 901会議室

■一般口演 29 血友病関節エコー (8:30~9:30)

座長：長尾 梓 (関西医科大学附属病院血液腫瘍内科)

山崎 尚也 (広島大学病院輸血部)

O-112 超音波検査で自分の膝関節撮像をおこなう訓練未経験者を支援する人工知能

○長尾 梓¹, Nima Teimouri², Daniel Michelsanti², Peter Waede Hansen², Susan Kras³, Johannes Roth^{4,5}, Lars Bryrup², Marek Zak²

(¹関西医科大学附属病院血液腫瘍内科, ²Novo Nordisk A/S, ³McMaster University, ⁴Children's Hospital of Central Switzerland, ⁵University of Luzern)

O-113 HEAD-US を用いた血友病性関節症患者におけるエコー評価

○山本 浩登¹, 寺部 健哉¹, 鈴木 望人¹, 佐藤 良¹, 長谷川純也¹, 大野 祐輔¹, 杉浦 喬也¹, 斉藤 祐樹¹, 浅井 秀司¹, 今釜 史郎¹, 鈴木 伸明², 松下 正²

(¹名古屋大学医学部整形外科, ²名古屋大学医学部輸血部)

O-114 血友病性肘関節症における関節エコー新評価法：BRISC-α

○山崎 尚也, 中十 奈苗, 藤井 輝久

(広島大学病院輸血部)

O-115 血友病患者における身体機能評価と関節超音波検査の関連性

○刀根 慎恵¹, 松本 剛史^{2,3}, 内藤 陽平¹, 長谷川正裕¹

(¹三重大学大学院医学系研究科整形外科, ²三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部, ³埼玉医科大学総合医療センター輸血部)

■一般口演 30 血友病臨床 (9:40~10:40)

座長：荻原 建一 (奈良県立医科大学小児科)

長江 千愛 (聖マリアンナ医科大学小児科)

- O-116** 福島県立医科大学における血友病性関節症診療連携の取り組み～Fukushima Hem-J～
○金内 洋一¹, 池添 隆之², 高橋 裕志², 佐野 秀樹³, 松本 嘉寛¹
(¹福島県立医科大学整形外科, ²福島県立医科大学血液内科, ³福島県立医科大学小児腫瘍内科)
- O-117** 本邦での先天性血友病 A 診療連携:後向き観察診療報酬データベース研究
○木内 英¹, 山口 昌子², 白幡 聡³
(¹東京医科大学臨床検査医学分野, ²武田薬品工業株式会社, ³産業医科大学)
- O-118** 日本における血友病治療の実態と満足度:リアルワールド調査
○永野 満大¹, 東郷 香苗¹, 平野 陽子¹, 軽森 俊之¹, Sheena Thakkar², Sophi Lai³,
Chris Blazos³, Rabiya Sahar³, Ella Morton³, Kieran Wynne-Cattanach³, Nathan Ball³
(¹ファイザー株式会社, ²Pfizer Inc., ³Adelphi Real World)
- O-119** 血友病患者の次世代治療をめざした多面的アウトカムに関するコホート研究 (J-HOS) の中間報告
○荻原 建一^{1,2}, 野上 恵嗣^{1,2}, J-HOS共同研究グループ²
(¹奈良県立医科大学小児科, ²J-HOS共同研究グループ)

第5会場 9F 902会議室

■一般口演 31 ITP 症例報告 (8:30~9:30)

座長: 勝見 章 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター血液内科)

安本 篤史 (北海道大学大学院医学研究院血液内科学教室)

- O-120** 免疫性血小板減少性紫斑病に脳静脈洞血栓症を合併し, 後に混合性結合組織病となった 12 歳女子
○日野もえ子, 中野 泰至, 山本 健, 佐藤 裕範, 青木 孝浩, 山下 喜晴, 奥主 朋子,
濱田 洋通
(千葉大学医学部附属病院)
- O-121** 胎児発育不全の末, 胎児死亡に至った Evans 症候群合併妊娠の一例
○黄 彩実, 川崎 薫, 森内 芳, 葉 宜慧, 松村 謙臣
(近畿大学医学部産科婦人科教室)
- O-122** 慢性播種性血管内凝固の治療中に著明な血小板減少を呈し, 免疫性血小板減少症を合併した一例
○根生 義巳¹, 松本 彬¹, 小川 孔幸¹, 梶田 樹矢¹, 塚田 明彦¹, 武井 寿史¹, 大崎 洋平²,
小林 宣彦¹, 宮澤 悠里¹, 半田 寛¹
(¹群馬大学大学院医学系研究科血液内科学分野, ²群馬大学医学部附属病院腫瘍センター)
- O-123** 出血症状の自然軽快が見られた抗 GPVI 抗体を有する GPVI 欠損症の一例
○小池 翠¹, 荻原 建一², 野上 恵嗣², 中田 継一¹, 遠藤 誉也¹, 富山 佳昭³, 柏木 浩和⁴,
保仙 直毅¹, 加藤 恒⁵
(¹大阪大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学, ²奈良県立医科大学小児科, ³上ヶ原病院, ⁴大阪府赤十字社血液センター, ⁵大阪大学医学部附属病院輸血部)

■一般口演 32 ITP その他 (9:40~10:40)

座長：八木 秀男 (奈良県総合医療センター血液腫瘍内科)

金子 誠 (三井記念病院臨床検査部)

O-124 幼若血小板比率と血漿トロンボポエチン濃度を使用した ITP 鑑別性能評価

○中山小太郎純友¹, 吉川 万紀¹, 岡部 莉奈¹, 林 泰輝¹, 永峰 啓丞¹, 木村 圭吾¹, 堀内美基子¹, 森川 珠世¹, 細川 美香¹, 中尾まゆみ¹, 清川 知子¹, 富山 佳昭^{2,3}, 柏木 浩和^{2,4}, 加藤 恒^{1,2}

(¹大阪大学医学部附属病院輸血部, ²大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, ³上ヶ原病院, ⁴大阪府赤十字血液センター)

O-125 特発性血小板減少性紫斑病と血栓性血小板減少性紫斑病の鑑別における IPF の有用性についての検討

○吉田 奈央¹, 城島 浩人¹, 山崎 聡¹, 大崎 浩一², 橋口 道俊¹, 今村 豊¹, 石丸 恵理³, 大澤 千穂³, 佐藤 悦子³, 松本 太一⁴, 岡村 孝¹

(¹雪の聖母会聖マリア病院血液内科, ²社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院輸血科, ³社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院臨床検査室, ⁴社会医療法人雪の聖母会聖マリア研究センター基礎医学研究ユニット)

O-126 BAPA 加全血を用いた一次止血機能検査 (T-TAS と Multiplate) の健常基準値と特性解析

○植野 亮太¹, 古川 晶子², 荻原 建一², 野上 恵嗣²

(¹奈良県立医科大学医学部医学科, ²奈良県立医科大学小児科)

O-127 T-TAS を用いたヒドロキシクロロキンの抗血小板作用解析とその有用性の検討

○小西 達矢¹, 平岡 大輔², 石崎 淳², 山之内 純¹, 竹中 克斗²

(¹愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部, ²愛媛大学大学院医学系研究科血液・免疫・感染症内科学)

■一般口演 33 血友病 QOL3 (14:20~15:20)

座長：兼松 毅 (名古屋大学医学部附属病院検査部)

稲垣 有佐 (奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座)

O-128 血友病患者の自立支援の現状と課題～発達段階別自立支援確認シート (中学生) を導入して～

○河村 麻耶, 堀口 穂波, 西村 翠, 根津 香, 北村由起子, 相木 彩子, 横川 裕一, 湯坐 有希

(東京都立小児総合医療センター)

O-129 北九州市における小中学校を対象とした月経教育・相談についてのアンケート調査

○白山 理恵, 深野 玲司

(産業医科大学小児科)

O-130 血友病患者さんの POMS2 を使用した気分状態の検討

○中尾 綾¹, 池田 采音¹, 小西 達矢¹, 山之内 純¹, 河邊憲太郎², 竹中 克斗¹

(¹愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科学, ²愛媛大学大学院児童精神医学講座)

O-131 血友病患者の骨密度低下に関する研究—多施設共同観察研究のデータより—

○藤井 輝久¹, 山崎 尚也¹, 中十 奈苗¹, 土石川佳世¹, 長尾 梓², 遠藤 知之³, 武山 雅博⁴, 鈴木 伸明⁵, 南 留美⁶, 日笠 聡⁷, 上村 悠⁸, 近澤 悠志¹⁰, 大野久美子⁹, 木内 英¹⁰
 (1)広島大学病院輸血部・血友病診療センター, (2)関西医科大学附属病院血液腫瘍内科, (3)北海道大学病院HIV診療センター, (4)国立病院機構大阪医療センター血友病科, (5)名古屋大学医学部附属病院輸血部, (6)国立病院機構九州医療センター感染症科, (7)兵庫医科大学病院血液内科, (8)国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター, (9)東京大学大学院医学系研究科難治性骨疾患治療開発講座, (10)東京医科大学附属病院臨床検査科)

■一般口演 34 後天性血友病 2 (15:30~16:30)

座長：朝倉 英策（恵寿金沢病院血栓・止血・血管病センター）

上田 恭典（倉敷中央病院血液内科）

O-132 Thromboelastography を用いて出血コントロールを行った後天性血友病 A の 1 例

○中村 彰秀¹, 松本 剛史^{1,2,3}, 塩谷 拓也¹, 名藤 佑真¹, 伊野 和子¹, 杉本 由香¹, 俵 功¹

(1)三重大学医学部附属病院血液内科, (2)三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部, (3)埼玉医科大学総合医療センター輸血部)

O-133 後天性血友病患者に対して止血治療前から早期介入した理学療法の一例

○下川亜希子¹, 森島 繁², 久保田 力³, 竹谷 英之¹

(1)敦賀医療センターリハビリテーション科, (2)敦賀医療センター内科, (3)敦賀医療センター整形外科)

O-134 本邦における後天性血友病 A の検査・診断の実態

○関 義信¹, 郷 円香², 家子 正裕³

(1)新潟大学医歯学総合病院血液内科, (2)武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス, (3)札幌保健医療大学保健医療学部)

O-135 中和抗体が陰性化後も血液凝固第 VIII 因子活性の低値が持続する小児の後天性血友病の一例

○山下 敦己¹, 梅沢陽太郎¹, 森 美佳², 足利 朋子², 長江 千愛², 秋田美恵子², 鈴木 典子³, 山崎 哲³, 杉山 誠⁴, 高山 成伸⁴, 瀧 正志²

(1)聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科, (2)聖マリアンナ医科大学小児科, (3)聖マリアンナ医科大学病院臨床検査部, (4)大東文化大学スポーツ・健康科学部)

第6会場 9F 903会議室

■一般口演 35 CLEC-2 (8:30~9:30)

座長：佐々木知幸（山梨大学大学院総合研究部医学域臨床検査医学講座）

田村 彰吾（北海道大学大学院保健科学研究院）

- O-136** 血小板受容体 CLEC-2 は関節リウマチにおける滑膜細胞の炎症反応を増強する
 ○佐々木知幸¹, 白井 俊光¹, 築地 長治¹, 小山 賢介², 田村 彰吾³, 大竹 志門⁴, 長田 誠⁵, 波呂 浩孝⁶, 尾崎由基男⁷, 井上 克枝¹
 (1山梨大学大学院総合研究部医学域臨床検査医学, 2蕪崎市立病院リウマチ科, 3北海道大学大学院保健科学研究院, 4日本大学医学部医学科血液・腫瘍内科, 5国際医療福祉大学保健医療学部, 6山梨大学大学院総合研究部医学域整形外科, 7笛吹中央病院)
- O-137** N型糖鎖による2つのCLEC-2 isoformと血小板活性化マーカー sCLEC-2産生の関連
 ○築地 長治¹, 白井 俊光¹, 大石 沙織^{1,2}, 横森 良平^{1,2}, 上田 眞叶², 佐々木知幸¹, 高野 勝弘^{1,2,3}, 井上 克枝^{1,2,3}
 (1山梨大学大学院臨床検査医学, 2山梨大学医学部附属病院検査部, 3山梨大学医学部附属病院輸血細胞治療部)
- O-138** COVID-19感染症における血小板活性化マーカーであるsCLEC-2値の変動
 ○和田 英夫^{1,2}, 白木 克哉¹, 新保 秀人¹, 川村 雅英³, 島岡 要²
 (1三重県立総合医療センター, 2三重大学医学部分子病態学講座, 3PHC株式会社)
- O-139** 急性期虚血性脳血管障害における新規血小板活性化マーカーの前向きコホート研究 (CLECSTRO)
 ○内山真一郎¹, 井上 克枝², 和田 英夫³, 岡田 靖⁴, 平野 照之⁵, 長尾 毅彦⁶, 木内 博之², 板橋 亮⁷, 星野 晴彦⁸, 大木 宏一⁸, 本間 温⁹, 伊藤 伸朗³, 杉森 宏⁴, 吉岡 秀幸², 川村 雅英¹⁰
 (1国際医療福祉大学臨床医学研究センター, 2山梨大学病院, 3三重県立総合医療センター, 4国立病院機構九州医療センター, 5杏林大学病院, 6日本医科大学武蔵小杉病院, 7岩手医科大学附属病院, 8東京都済生会中央病院, 9公立昭和病院, 10PHC株式会社)

■一般口演 36 VWF 臨床 (9:40~10:25)

座長：松本 剛史（埼玉医科大学総合医療センター輸血部）

萩原 剛（荻窪病院血液凝固科）

- O-140** Type3 VWDにおけるVWFインヒビター発生と微量なVWF発現の有無（自施設症例の検討）
 ○岡本 修一¹, 鈴木 伸明², 兼松 毅³, 鈴木 敦夫⁴, 田村 彰吾⁵, 鈴木奈瑠子⁶, 早川 文彦¹, 清井 仁⁶, 小嶋 哲人⁷, 松下 正^{2,3}
 (1名古屋大学オミックス医療科学, 2名古屋大学医学部附属病院輸血部, 3名古屋大学医学部附属病院検査部, 4名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門, 5北海道大学大学院保健科学研究院病態解析学分野, 6名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学, 7愛知健康増進財団)

O-141 難治性鼻出血をきたしている VWD 患者における鼻粘膜の電子顕微鏡解析○中山 享之^{1,2}, 小川 実加², 鈴木 伸明³, 岡本 修一⁴

(1愛知医科大学病院, 2愛知医科大学病院中央臨床検査部, 3名古屋大学医学部附属病院輸血部, 4名古屋大学医学部保健学科)

O-142 遺伝性球状赤血球症と von Willebrand 病を合併した脾・胆管合流異常症の小児例○矢賀部彩音¹, 鈴木 恭子², 二階 公貴³, 秋庭 崇人¹, 服部万里子¹, 米山 俊之¹, 齊藤 真人¹, 石川有希美¹, 織田 久之¹, 宮野 剛³, 高橋 健¹

(1順天堂大学附属浦安病院小児科, 2順天堂大学附属練馬病院小児科, 3順天堂大学附属浦安病院小児外科)

■一般口演 37 TTP (14:20~15:20)

座長：酒井 和哉 (奈良県立医科大学輸血部)

石村 匡崇 (九州大学大学院医学研究院周産期・小児医療学)

O-143 診療科横断的に特定された血栓性微小血管症の実態調査○久保 政之¹, 加藤 規利², 松山 哲也², 今泉 貴広³, 齋藤 健貴⁴, 松本 剛史^{5,7}, 和田 英夫⁶, 丸山 彰一², 松本 雅則^{1,4}

(1奈良県立医科大学附属病院血液内科, 2名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学腎臓内科, 3名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部データセンター, 4奈良県立医科大学附属病院輸血部, 5三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部, 6三重大学大学院医学研究科分子病態学, 7埼玉医科大学総合医療センター輸血部)

O-144 高齢発症の先天性 TTP 患者における ADAMTS13 遺伝子全長欠損の同定○樋口 (江浦) 由佳¹, 叶 盛¹, 田根 葵², 村松 彩子³, 内山 人二³, 酒井 和哉⁴, 松本 雅則^{4,5}, 小亀 浩市¹

(1国立循環器病研究センター分子病態部, 2蘇生会総合病院脳神経外科, 3京都第一赤十字病院血液内科, 4奈良県立医科大学輸血部, 5奈良県立医科大学血液内科)

O-145 ADAMTS13 活性低下が遷延しカプラシマブを長期投与した血栓性血小板減少性紫斑病の一例○藤原 遼平¹, 野口 紘幸¹, 田原 研一¹, 小川 孔幸², 石崎 卓馬¹

(1前橋赤十字病院血液内科, 2群馬大学医学部附属病院血液内科)

O-146 大量 FFP 療法, PSL, リツキシマブによって血漿交換を回避できた後天性 TTP の 2 歳女児例○下澤 克宜¹, 金澤 剛二¹, 田村 豪良¹, 伊東 正剛¹, 中原衣里菜¹, 平井麻衣子², 松本 雅則³, 森岡 一朗¹

(1日本大学医学部附属板橋病院小児科, 2赤羽中央総合病院小児科, 3奈良県立医科大学輸血部)

ポスター

- P-001** それ本当に出血ですか？心理社会的要因が関節痛の原因と推察された血友病 A の男児
 ○石川 秀太^{1,2}, 遠藤 幹也², 角掛 和音^{1,2}
 (岩手県立二戸病院小児科, ²岩手医科大学小児科)
- P-002** 軽症血友病 A において血便を認めカルプロテクチン高値を呈した症例についての検討
 ○宇佐美郁哉¹, 岩井 篤¹, 田中 邦昭¹, 小林健一郎¹, 毎原 敏郎², 平家 俊男²,
 松村 毅³
 (1) 尼崎総合医療センター小児血液・腫瘍内科, ²兵庫県立尼崎総合医療センター小児科, ³兵庫県立尼崎総合医療センター消化器内科)
- P-003** エファネソクトコグアルファ定期輸注により安全に抗凝固療法を施行できた血友病 A の一例
 ○岸本磨由子¹, 川口 佳乃², 岡本 修一³, 兼松 毅², 鈴木 伸明⁴, 鈴木 敦夫², 松田 宜賢⁵,
 兵藤 良太⁶, 石津 洋二⁵, 松下 正⁴
 (1) やすまゆファミリークリニック, ²名古屋大学医学部附属病院検査部, ³名古屋大学大学院医学系研究科保健
 学科細胞遺伝情報科学, ⁴名古屋大学医学部附属病院輸血部, ⁵名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学,
⁶名古屋大学大学院医学系研究科新規低侵襲画像診断法基盤開発研究寄附講座)
- P-004** 血友病 A 患者 5 例におけるエファネソクトコグアルファの凝固能の検討
 ○武山 雅博^{1,2}, 西田 恭治¹, 古川 晶子^{1,2}, 荻原 建一², 野上 恵嗣²
 (1) 国立病院機構大阪医療センター血友病科, ²奈良県立医科大学小児科)
- P-005** エファネソクトコグアルファ投与下における第 8 因子活性の, 測定方法による乖離についての検討
 ○大城 宗生^{1,2}, 内山 人二², 黒田 純也³
 (1) 男山病院血液内科, ²京都第一赤十字病院血液内科, ³京都府立医科大学附属病院血液内科)
- P-006** 血友病 A 保因者に対する手術時 VIII 因子投与の経験
 ○遠藤 幹也¹, 石川 秀太¹, 角掛 和音¹, 上原さつき², 伊藤 薫樹²
 (1) 岩手医科大学小児科, ²岩手医科大学血液内科)
- P-007** AKATSUKI Study 96 週中間解析結果：ITI 実施下及び実施後のエミシズマブの安全性評価
 ○長江 千愛¹, 野上 恵嗣², 鈴木 伸明³, 長尾 梓⁴, 安藤 昌彦⁵, 鍬塚八千代⁵, 野坂 大輔⁶,
 京極 結⁶, 志村 朋美⁶, 松下 正³
 (1) 聖マリアンナ医科大学病院小児科, ²奈良県立医科大学附属病院小児科, ³名古屋大学医学部附属病院輸血
 部, ⁴関西医科大学血液腫瘍内科, ⁵名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部, ⁶中外製薬株式会社)
- P-008** 外傷性頭蓋内出血から血友病 B と診断され, West 症候群に ACTH 療法を行った乳児例
 ○宮地 秀途, 白山 理恵, 伊藤 琢磨, 五十嵐亮太, 福田 智文, 深野 玲司
 (産業医科大学小児科)

- P-009** 治療の自己中断後に咽喉頭血腫を発症し、気道狭窄の危機に陥った重症型血友病 B の 1 例
○金子 竣, 近澤 悠志, 大崎 俊樹, 原田 侑子, 宮下 竜伊, 山口 知子, 一木 昭人, 備後 真登, 村松 崇, 四本美保子, 萩原 剛, 天野 景裕, 木内 英
(東京医科大学病院臨床検査医学科)
- P-010** 打撲を契機に右前腕コンパートメント症候群を発症した重症血友病 B の 1 例
○小澤利一郎¹, 宮下 竜伊², 辻 華子³, 市川 裕一³, 大崎 俊樹², 金子 竣², 山口 知子², 一木 昭人², 近澤 悠志², 備後 真登², 村松 崇², 四本美保子², 萩原 剛², 天野 景裕², 西田 淳³, 木内 英²
(¹東京医科大学病院卒後臨床研修センター, ²東京医科大学病院臨床検査医学科, ³東京医科大学病院整形外科)
- P-011** 血友病 B Leyden 関連症例の検討
○國枝 七海¹, 鈴木 伸明², 岡本 修一³, 鈴木 敦夫⁴, 田村 彰吾⁵, 兼松 毅⁶, 小嶋 哲人⁷, 松下 正^{2,6}
(¹名古屋大学大学院医学系研究科, ²名古屋大学医学部附属病院輸血部, ³名古屋大学医学部保健学科, ⁴名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門, ⁵北海道大学大学院保健科学研究院, ⁶名古屋大学医学部附属病院検査部, ⁷愛知健康増進財団)
- P-012** AT 減少インヒビター保有血友病患者モデルにおける pd-FVIIa/FX 製剤及び pd-FX 添加時の包括的凝固能
○王 茂治^{1,2}, 中島 由翔^{1,2}, 高見 英輔³, 中野 宏俊³, 野上 恵嗣^{1,2}
(¹奈良県立医科大学小児科, ²奈良県立医科大学稀少性止血血栓異常症共同研究講座, ³KMバイオロジクス研究開発推進部メディカルアフケアズ課)
- P-013** マルスタシマブ治療中の出血事象に対して急性治療を受けた際の凝固検査値レベル
○鈴木 昭之¹, Sangeeta Rajee², Satyaprakash Nayak³, Travis Gould⁴, Steven Arkin³, John Teeter⁵
(¹ファイザーR&D合同会社, ²Pfizer Inc, Collegeville, United States of America, ³Pfizer Inc, Cambridge, United States of America, ⁴Pfizer Inc, New York, United States of America, ⁵Pfizer Inc, Groton, United States of America)
- P-014** 大動脈弁狭窄症により後天性フォン・ヴィレブランド症候群を呈した軽症血友病 A の 1 例
○宮下 竜伊¹, 原田 侑子¹, 金子 竣¹, 山口 知子¹, 一木 昭人¹, 近澤 悠志¹, 備後 真登¹, 村松 崇¹, 四本美保子¹, 稲葉 浩¹, 萩原 剛¹, 天野 景裕¹, 島原 佑介², 木内 英¹
(¹東京医科大学病院臨床検査医学科, ²東京医科大学病院心臓血管外科)
- P-015** Iron Deficiency and Iron Deficiency Anemia Mongolian Child with Hemophilia A in Mongolia-Japan Hospital
○Nordog Munkhuchral, Tsogbadrakh Odgerel, Altangerel Otgonbat, Otgonbayar Purevjal, Amarbayasgalan Munkhuu, Zorigoo Agidulam, Sainjargal Suvd
(Mongolian National University)

- P-016** 血友病患者の足部障害に対する包括的評価の重要性-1 症例の治療経験を通して-
- 祖川 稔史¹, 赤松 和紀¹, 山中 貴弘¹, 越智 海斗¹, 島原 範芳¹, 佐藤 信治¹, 澤田 直哉², 奥田 恭章², 山之内 純³, 大西 誠²
- (¹道後温泉病院リウマチセンターリハビリテーション科, ²道後温泉病院リウマチセンター内科, ³愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)
- P-017** Assessment of joint health status of children with hemophilia
- Amarbayasgalan Munkhuu, Tsogbadrakh Odgerel, Batchuluun Khongorzul
- (Mongolian National University)
- P-018** 長期に渡り運動習慣が定着していなかった重症血友病 A 患者に対する理学療法介入
- 山川 誠弥¹, 柳田 亜維¹, 梶原 和久¹, 笹沼 直樹¹, 内山 侑紀², 道免 和久², 日笠 聡³
- (¹兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部, ²兵庫医科大学医学部リハビリテーション医学講座, ³兵庫医科大学呼吸器・血液内科学)
- P-019** 血友病における関節エコー技術普及を目指したハンズオンセミナーの効果
- 長尾 梓^{1,2}, 竹谷 英之³, 天野 景裕⁴, 近澤 悠志⁴, 稲垣 有佐⁵, 大野久美子⁶, 山崎 尚也⁷
- (¹関西医科大学附属病院血液腫瘍内科, ²荻窪病院血液凝固科, ³敦賀医療センターリハビリテーション科, ⁴東京医科大学病院臨床検査医学科, ⁵奈良県立医科大学リハビリテーション室, ⁶東京大学大学院医学系研究科難治性骨疾患治療開発講座, ⁷広島大学病院輸血部)
- P-020** 日本の医療事情に則した HEAD-US 実施におけるコンセンサスステートメント
- 長尾 梓¹, 山崎 尚也², 稲垣 有佐³, 松野 良介⁴, 三崎 健太⁵, 田波 穰⁶, 斎藤 滉太⁷, 佐竹 郁哉⁸, 秋山 忍⁹, 天野 景裕¹⁰
- (¹関西医科大学附属病院血液腫瘍内科, ²広島大学病院輸血部, ³奈良県立医科大学リハビリテーション室, ⁴関西医科大学附属病院小児科, ⁵北播磨総合医療センターリウマチ・膠原病内科, ⁶埼玉県立小児医療センター放射線科, ⁷札幌徳洲会病院生理検査室, ⁸姫路赤十字病院検査技術部, ⁹東京医科大学病院バスキュラーラボ, ¹⁰東京医科大学病院臨床検査医学科)
- P-021** 血友病患者の膝痛に対し超音波ガイド下ハイドロリリースが奏功した 2 例
- 関 健¹, 立岩 俊之¹, 近澤 悠志², 星 光峻¹, 宮下 竜伊², 石田 常仁¹, 正岡 利紀¹, 天野 景裕², 木内 英², 宍戸 孝明¹, 山本 謙吾¹
- (¹東京医科大学整形外科分野, ²東京医科大学臨床検査医学分野)
- P-022** Rituximab Failure in Pediatric ITP: Insights from Single-Cell PBMC Sequencing
- Zheyuan Lin, Xingjuan Xie, Juntao Ouyang, Hui Chen, Jingyao Ma, Zhifa Wang, Jia Wei, Zhenping Chen, Runhui Wu
- (Beijing Children's Hospital)

- P-023** Safety and Efficacy of HMB-001 as Prophylaxis in Glanzmann Thrombasthenia: Phase 1/2 Study Interim Data
 ○Sivapalaratnam Suthesh¹, Frenzel Laurent², Xavier Frederico³, Verhamme Peter⁴, Rea Catherine⁵, Gosnell Ashley⁵, Vogel Joseph⁵, Nagilla Pruthvi⁵, Parsons Tara⁵, Amin Jigar⁵, Lorch Ulrike⁶, Goricar Matej⁶, Law Andrew⁵
 (¹Queen Mary University of London, ²Necker Hospital, ³University of Pittsburgh, ⁴KU Leuven, ⁵Hemab Therapeutics, ⁶Richmond Pharmacology)
- P-024** Factors contributing to coagulopathy in amniotic fluid embolism: An in vitro model
 ○Tomoaki Oda¹, Kostousov Vadim¹, Bruzdoski Karen², Rodriguez Juan Vitelio¹, Navaei Amir¹, Hensch Lisa¹, Fox Karin³, Jun Teruya¹
 (¹Baylor College of Medicine, ²Texas Children's Hospital, ³Texas Medical Branch)
- P-025** MEK 阻害剤 PD0325901 は血管内皮細胞の CD34 発現を誘導する
 ○細田 千裕¹, 三谷 成二¹, 嶋 緑倫², 辰巳 公平^{1,2}
 (¹奈良県立医科大学血栓止血先端医学, ²奈良県立医科大学血栓止血医薬生物学)
- P-026** 細胞培養培地が組織因子発現を介して間葉系幹細胞 (MSC) の向血栓性に与える影響
 ○高藤 義正¹, 三谷 成二^{2,3}, 高林 葉子^{2,3}, 嶋 緑倫³, 辰巳 公平^{2,3}
 (¹株式会社マイオリッジ, ²奈良県立医科大学血栓止血先端医学講座, ³奈良県立医科大学血栓止血医薬生物学共同研究講座)
- P-027** トロンボモジュリン長崎変異患者由来 iPS 細胞を用いた病態解明～内皮細胞への分化誘導
 ○本田 剛一¹, 川村 文彦¹, 横川 貴之¹, 伊藤 海里¹, 船越 康智², 谷岡 真司², 岡田 雅彦³, 池添 隆之¹
 (¹福島県立医科大学血液内科, ²長崎大学病院小児科, ³社会福祉法人聖家族会みさかえの園あゆみの家)
- P-028** 敗血症 High Mobility Group Protein 1 測定値の問題点と Haptoglobin の影響；予後からの検討
 ○江口 豊^{1,2}, 水野 隆芳³, 北川 裕利³, 塩見 直人²
 (¹医療法人京都翔医会西京都病院, ²滋賀医科大学救急集中治療医学講座, ³滋賀医科大学麻醉学講座)
- P-029** 白血病に合併する脳出血の病理
 ○魏 峻洸¹, 久田 洋平², 解 凱堯¹, 幣 光太郎³, 中村恵理子¹, 大栗 伸行^{1,4}, 阿萬 紫¹, 盛口 清香⁴, 下田 和哉³, 山下 篤¹
 (¹宮崎大学医学部病理学講座, ²ノースカロライナ大学チャペルヒル校医学部血液学分野UNC血液研究センター, ³宮崎大学医学部内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野, ⁴宮崎大学医学部附属病院病理部・病理診断科)